

蓮子八郎 つじ ぎんろう 歌人。明治二十六年二月二十日東京生まれ（九九三）。本名井上可朗。昭和二年東京帝國大学法学部政治學科卒業。安田銀行入行、十四年内閣情報部に轉じ、十九年大藏省監督官。短歌は大正九年古泉千樫の入門、その後雑誌『勁草』に據り主として評論を発表。昭和七年『短歌と方法』發刊、翌年改組第一二次創刊主宰。新短歌運動を推進し、十一年新短歌クラブ委員長と、十八年定例を復歸。

著書『現代抒情歌選』（本名、主編・向陵詩社編、大正十四年一月一日芳美閣）、年刊歌集『新短歌・一九二七年』（合著・新短歌クラブ編、昭和十一年十一月十日第一書房）、『このころの山』（昭和十二年十一月五日朋文堂）、山誌 歌集『雲烟』（昭和十六年七月十日河出書房）、紀行集『山征のぼり』（昭和十六年九月十日中央公論社）、『國語文化講座・第五卷―國語生活篇』（本名、合著、昭和十六年十一月五日朝日新聞社）、『武藏野隨筆』（合著・松村英一監修、昭和十七年十一月二十日又林堂双魚房『双魚房良書』）、歌集『八十氏川』（昭和十九年二月）『千舟第一書房』等。

